

令和 7 年 6 月 26 日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
地域環境対策課長 川瀬 (972-2671)
課長補佐 (水質地盤) 白木 (972-2675)
(本日 19 時 15 分まで待機しております。)

堀川における死魚について（最終報）

堀川での死魚について詳細な調査結果をお知らせします。

1 調査結果

名古屋市環境科学調査センターにおいて、詳細な分析を行ったところ、結果は下表のとおりでした。

(1) 水質検査結果

場所 (採水日時)	尾頭橋 (熱田区新尾頭町) (6/26 11:10)	単位	(参考) 環境基準 河川D類型
p H	6.80	—	6.0～8.5
C O D	7.5	[mg/L]	8 以下
D O (表層)	0.89	[mg/L]	2 以上
シアン	検出せず	[mg/L]	検出されないこと
六価クロム	検出せず	[mg/L]	0.02 以下
残留塩素	検出せず	[mg/L]	—

p H 酸性、アルカリ性をあらわす度合い
C O D (化学的酸素要求量) 水の汚れをあらわす指標
D O (溶存酸素量) 水に溶けている酸素の量

水質検査の結果、有害物質は検出されませんでした。

(2) 魚体観察結果

魚体観察の結果、えらに酸欠の症状が見られました。魚体は死後 1 日程度経過していると思われます。

2 死魚原因

水質検査及び魚体観察結果より、D O (溶存酸素量) 不足による酸欠の可能性が考えられます。

3 その他

死魚の回収は、名古屋港管理組合が行いました。

死魚範囲

松重橋～きらく橋 約 7km

